

令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

46

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴					有
事務事業名	人材育成事業						
予算科目	2 款 1 項 1 目						
予算事業名	一般管理費						
総合計画での位置づけ	効率的で健全な行財政運営の推進						
担当課	総務課	担当課長	安倍 達也				
事業担当者	有泉 紘子		一次評価者	亀井 玲子			
事業の性格	自治事務						
法令根拠等	地方公務員法						
事業の対象	久山町役場職員						
事業の目的	久山町人材育成基本方針に基づき、職員の職務能率向上のため、庁内研修を実施し、または各種研修へ職員を派遣し、人材育成や組織の活性化等を図る。						
実施期間	開始年度	平成 21 年度から					
	終了年度	令和 年度まで					
事業の内容	庁内研修および民間企業主催の研修施設も含めた各種研修所への職員の派遣。						
目的達成の指標	研修参加希望調査で参加希望した職員数						
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度	
	目標	人	20	30	30	30	
実績	人	17	22				
指標設定の考え方	本来であれば研修の成果を指標とすべきではあるが、それに関しては人事評価事業により行うこととし、この事業では、職員の学ぶ意欲の向上を指標とすることとした。						
事業遂行時懸案事項等	参加目標数、参加実績数ともに上昇傾向にあり、職員の意欲向上は認められると解される。もっとも、研修参加後に、実際に当該研修参加の成果が職員の日々の業務遂行や公務員としての知識向上に寄与しているかを判断する指標や基準が乏しいのが現状である(復命書の提出に留まる)。また、管理職においても、課員に必要な知識および能力の把握が不十分であり、結果、各職員のフォローアップが十分になされていないように見受けられる。						
事業実施時懸案事項対応等	研修の機会提供にとどまらず、アフターフォローの実施が必要である。具体的に、管理職においては、評価者研修を通じて、各職員への人事評価に絡めて研修参加への働きかけに結び付くような助言、指導が実現できるよう習得し、人事面談で実践できるよう努める必要がある。職員においては、上記の管理職からの助言、指導をもとに、今後の自己研鑽に必要な知識や能力のあり方を顧み、評価向上に役立つよう努める必要がある。						

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 235 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算
事務量	① 人工数	0.14	0.14	0.14	0.14
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	1,029	1,057	999	999
事業費	直接事業費	1,046	1,046	1,046	1,046
	人件費	1,029	1,057	999	999
	合 計	2,075	2,103	2,045	2,045
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,075	2,103	2,045	2,045
合 計	2,075	2,103	2,045	2,045	

事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目 標	1,046	1,046	1,046	1,046	1,046
実 績	353	269			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
研修参加希望調査数	回	2	2	2	2
		1	2		
単独研修の実施	回	1	1	1	1
		1	0		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 153 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	0.23	0.14	0.14	
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891	
	③ 補助事業人件費		0		
	人件費(①×②-③)	1,653	1,057	1,104	
事業費	直接事業費	353	1,046	269	
	人件費	1,653	1,057	1,104	
	合 計	2,006	2,103	1,373	
財源内訳	国庫支出金		0		
	県支出金		0		
	地方債		0		
	その他		0		
	一般財源	2,006	2,103	1,373	
合 計	2,006	2,103	1,373		

実施備忘録

自己評価	評価者	有泉 紘子
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		C
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	2	
②効率性		C
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	2	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	2	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	2	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input checked="" type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

・地方公務員法で研修の機会を与えることとされているため、例年職員に対して研修希望調査を行い、翌年度に派遣する研修計画を策定している。町民からの、研修派遣要請があるか、また当該要請が高いかは把握しかね、また、研修によってただちに町民に利益が還元されるような即効性は見出しがたいものの、職員一人ひとりの能力向上は、組織としての行政運営に効果的に影響を及ぼすことが予測され、最終的には町全体の利益向上に寄与するものと考えられる。したがって、職員研修による人材育成は町の成長にとっては必要なものと解される。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

・職員研修所への研修参加は宿泊を伴うものが多く、公務に影響を及ぼす可能性があるため、参加希望が伸び悩む傾向にあった。しかし、研修所では今年度からは各団体からの要請を受けて、宿泊を伴わない研修実施回数を増加させている。今後は、民間主催の単発研修とあわせて多くの職員に積極的に研修へ参加して貰えるように継続的に希望調査を実施し、研修参加率の増加につなげたい。

・また、職員からの受講要望の多い分野については、組織内研修として単発で実施することも検討したい。

・人材育成とともに組織内活性化を図るには人事異動に則した研修実施が有効的とも捉えられるが、職員数が少ない中で度々人事異動を行うことは困難とも考えられる。従って各職員は、現業務にかかるスペシャリストとしての技能・知識を備えられるよう日々研鑽に励むことと並行して、長い公務員生活においてジェネラリストとしての知識・経験を備えられるように、自らを客観的に捉えられるよう努める必要がある。また、管理職においては、課員教育の一手段として、研修を有効的な活用に努める必要がある。具体的に管理職は、人事評価の場面において、課員の積極的な研修参加を高評価であると認めて課員の意識改革、動機付けに努める、または、今後の課員の個々の成長に必要な分野や知識にかかる指導の一環として研修参加を促す、などである。個人の成長がひいては組織、町の活性化につながるものと考えられる。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	亀井 玲子
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

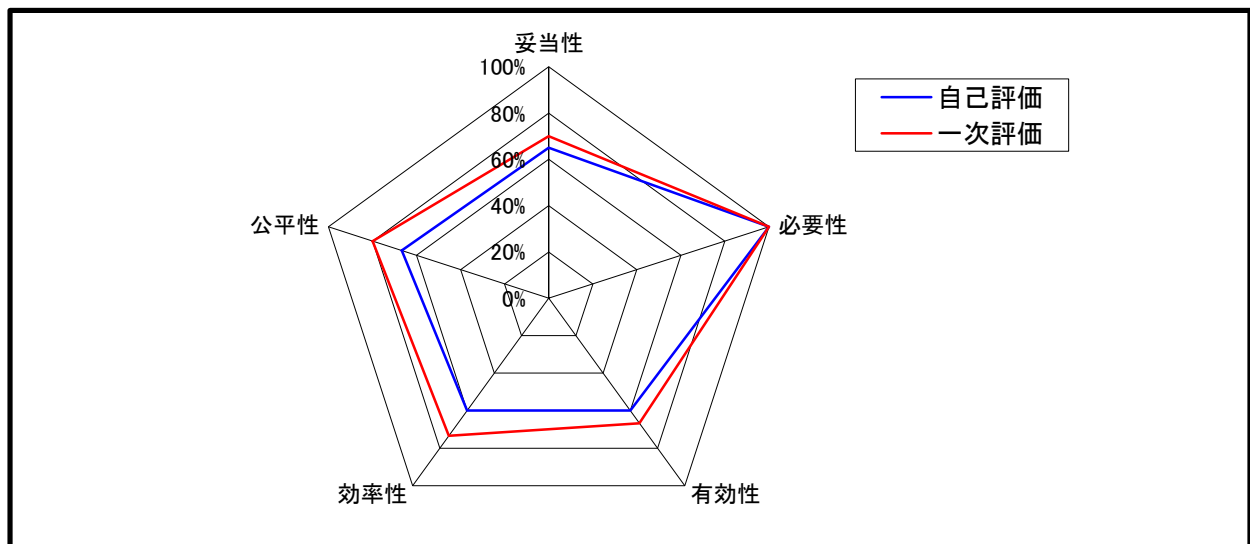
1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input checked="" type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

職員の質の向上や新しい知識の吸収等に必要事業であり、行政サービスの向上に結び付く事業である。また、人事評価事業と連携していかなければならないと考えられる。しかしながら、研修参加者の人数も少なく、今年度は単独研修も行うことができなかった。来年度は職員のニーズに合った研修の実施に取り組んでいきたい。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価

評価者

安倍 達也

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

職員の質の向上等のため必要な事業であり、人事評価と連携して個人にあった内容へと変更し、更なる事業推進を図る。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。



一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。



外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価

経営者会議の評価

--

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)

--